

ブルキナファソ野球とラシイナ君の挑戦を応援しよう

皆さん、ブルキナファソという国を聞いたことがありませんか？ アフリカ西部の内陸に位置し、国際機関の定める指標で189カ国中180位の世界最貧国の一つです。



周辺の国と同様、サッカーが盛んですが、少ないながらも野球をする人が存在しています。こうした人たちの熱意に応えるべく、日本から青年海外協力隊員として野球を指導する青年が派遣されています。

今回、初代隊員として派遣され、ブルキナファソ野球の礎を築いた出合祐太（であいゆうた）さんが中心となり、日本の「ブルキナファソ

野球を応援する会」が、野球を愛するブルキナファソの少年にプロ野球選手になる夢を持つてもらい、ブルキナファソ野球界の発展につなげようと、現地の少年を日本に派遣する事業を始めました。

ファイティングドッグスは、彼らの姿に共鳴し、今年派遣されるサンホ・ラシイナ君（写真）を練習生として受け入れることにしました。ラシイナ君（16歳）は6月7日に来日し、北海道で日本語習得と生活適応を済ませた後、6月30日より高知入りし、練習生として練習に参加しています。そして今月末には、当球団のトライアウトを受ける予定です。

また、ブルキナファソにおける野球の様子を紹介するパ



ネル展を、観光物産館おちまちにて開催しています。お買物の折にお立ち寄りいただき、ラシイナ君を始め、ブルキナファソの少年たちが、アフリカの大地でどのように野球に取り組んでいるかを、ぜひご覧ください。

どのようなことでも結構です、ラシイナ君の挑戦と、ブルキナファソ野球を応援していただける方は、左記までご連絡ください。よろしくお願ひします。

【連絡先】 26-1633
(担当：木屋)



平成25年度 横倉山 案内人講座



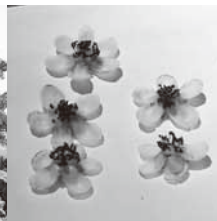
杉原神社



横倉宮



住吉神社



サルナシの花



アカガシの巨木

5月26日、横倉山案内人養成講座「新緑の横倉山散策」を開催しました。

今回の講座では、横倉山で発見され命名された“タイプ植物”である、コミヤマスマレやヨコグラツクバネの自生地観察会を中心に、地質・動植物・歴史・伝承など横倉山の自然が育む多様な魅力について、横倉山自然の森博物館安井副館長から学びました。コミヤマスマレの花の見ごろは過ぎていましたが、葉や自生地の特徴などの説明に参加者の皆さんは関心を示していました。散策の途中には、マムシとの遭遇もあり、マムシにまつわる話にも会話がはずみ、四方山な自然と人との関わりがあることを楽しみました。新緑を楽しむ山歩きグループも多く、あいさつをかわしていると県外から来ている方々もおり、横倉山の豊かな自然を楽しまれていました。安井副館長の「世界的な形容がつく山と言っても過言では無い」というお話に実感しました。

6月には、ヒメボタルの観察会を行うなど、四季折々の横倉山の魅力を学び伝える活動を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

◆お問い合わせ先 越知町観光協会 TEL 26-1004
企画課 TEL 26-1164

